

沖端漁港



種別／第2種 管理者／福岡県 所在地／柳川市沖端町大字矢留町地先

有明海に注ぐ沖端川に位置する県管理の河川漁港で、源平の戦に敗れた平家の落人六騎（公達）が肥後五箇荘よりこの地に逃れ矢留で漁業を初めて以来長い歴史を持ち、藩制時代には柳河藩の知遇を受けた。

漁業については3～5トンを中心としたのり養殖、採貝漁業が主漁業となっている。

また、全国一の有明海の干満の差や典型的な河川漁港のため、昭和26年県の漁港指定以来数次に渡る浚渫事業、係留施設拡充など漁港整備が行われ、沖端、浜武、西宮永、両開各漁港に所属する小型漁船約850隻が利用する本県有明海有数の漁港である。

港 勢

漁業協同組合名 沖端、浜武、 西宮永、両開	漁業地区人口 16,993	組 合 員 数			漁業経営 体 数 953	漁業従事 者 数 2,565
		総 数 1,305	正組合員 1,288	准組合員 17		

●漁船数

区 分	総隻数	動 力 漁 船						無動力漁船
		総 数	3t未満	3t～5t	5t～10t	10t～20t	20t以上	
登 録 漁 船	795	795	201	593	1	—	—	—
利 用 漁 船	854	854	210	643	1	—	—	—

●漁獲量（t）

（ ）は漁獲額

	総 漁 獲 量	海 面 漁 業				浅 海 養 殖 業	
地元漁業者 （ 属 人 ）	13,390	4,760				8,630	
陸 揚 量 （ 属 地 ）	〔 4,105 百万円 〕 14,804	採貝業	刺し網	釣り	その他	のり	
		4,580	182	82	189	9,771	